

2019年度(平成31年度) 金沢大学大学院人間社会環境研究科(第2期募集)
入学試験問題

試験科目	筆記試験選択科目 専門科目		
問題区分	経済政策論	解答用紙枚数	2 枚

次の設問から2問を選択して解答しなさい。なお、1つの設問につき1枚の解答用紙を使用すること。解答用紙には選択した設問番号を明記すること。

- 設問1 経済政策の目的について、複数の側面を上げて説明しなさい。その際、構成的基本目標と規制的基本目標の区別と関係に触れなさい。
- 設問2 財政政策が乗数効果を持つことを説明しなさい。また、政府が財政政策を実施する際、資金調達の方法には、どのようなものがあるか述べ、方法ごとの乗数効果への影響について説明しなさい。
- 設問3 産業政策の産業育成政策、競争政策、規制政策としての側面について概説しなさい。また、それぞれについて具体的な産業分野における政策の例を示しなさい。
- 設問4 社会保障とは何か、述べなさい。また、なぜ政府が社会保障を提供しなければならないのか、複数の理由をあげて説明しなさい。

2019年度（平成31年度） 金沢大学大学院人間社会環境研究科（第2期募集）
入学試験問題

試験科目	経済理論		
問題区分	外国人特別選抜	解答用紙枚数	2枚

次の設問から2問を選択して解答しなさい。なお1つの設問につき1枚の解答用紙を使用すること。解答用紙には選択した設問番号を明記すること。

[設問1]

H. ミンスキーの金融的景気循環理論について、①その核となる理論的枠組みに関する説明、②企業の投資決定、③国家（政府）の役割に対する含意、の3点に必ず言及しながら説明しなさい。その際、下記の3つの〈語句〉を必ず解答の文章中に含めること。

〈語句〉 「負債デフレーション」、「リスク」、「金融不安定性仮説」

[設問2]

以下の問いに答えなさい。

- ① 厚生経済学の第1基本定理について以下の問いに答えなさい。
 - (1) その具体的な内容について説明しなさい。
 - (2) 簡単なモデルを用いて厚生経済学の第1基本定理が成立することを証明しなさい。
- ② 厚生経済学の第2基本定理について、以下の問いに答えなさい。
 - (1) 厚生経済学の第2基本定理の内容について簡単に説明しなさい。
 - (2) ②の(1)で述べたことを実現するための具体的な政策手段とその方法について説明しなさい。

[設問3]

以下の問いに答えなさい。

- ① IS-LM モデルを用いて、閉鎖経済における財政政策および金融政策の効果を分析しなさい。
- ② 閉鎖経済モデルから開放経済モデルに拡張した場合、①で得られた結果と比較して財政政策および金融政策の効果にどのような違いが生じるであろうか、モデルを用いて理論的に説明しなさい。

2019年度(平成31年度) 金沢大学大学院人間社会環境研究科(第2期募集)
入学試験問題

試験科目	専門科目		
問題区分	経営学(会計学を含む)	解答用紙枚数	2 枚

次の設問から 2問を選択して解答しなさい。なお、1つの設問につき1枚の解答用紙を使用すること。解答用紙には選択した設問番号を明記すること。

設問1 企業経営において、イノベーションを継続的に起こしていくには、どのようなことが必要であるのか、論じなさい。

設問2 企業が事業ポートフォリオを決定する際に、「集中と選択」が重視される傾向が強いのは何故だろうか。また、そのことの副作用はないだろうか。以上の2点について論じなさい。

設問3 無形固定資産および「のれん」について、それぞれの定義および会計処理法について述べなさい。その上で、それらの会計測定上の問題点について論じなさい。

設問4 連結財務諸表の必要性について、単独の財務諸表と比較しつつ論じなさい。その際、財務会計の「意思決定有用性」と「契約支援機能」という視点から両者を比較検討すること。

2019年度(平成31年度) 金沢大学大学院人間社会環境研究科(第2期募集)
入学試験問題

試験科目	経済史		
問題区分	外国人留学生特別選抜	解答用紙枚数	1 枚

次の設問から 1問を選択して解答しなさい。なお、1つの設問につき1枚の解答用紙を使用すること。解答用紙には選択した設問番号を明記すること。

設問1

第1次世界大戦後から昭和恐慌までの日本経済の動向について論じなさい。

設問2

19世紀中葉から1910年代にかけての中国の在来綿業の歴史を論じなさい。

設問3

1920年代から1930年代にかけてのヨーロッパ経済の動向について論じなさい。